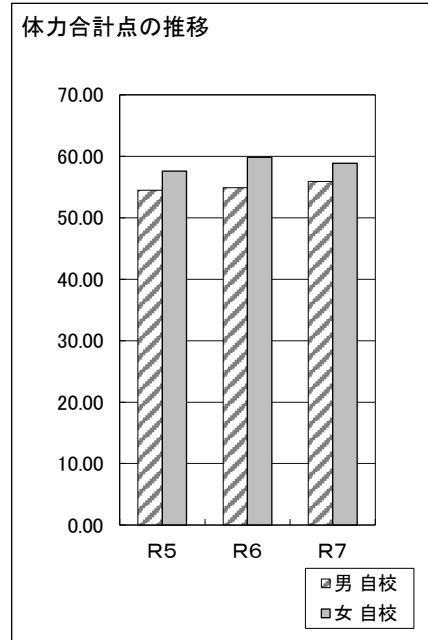
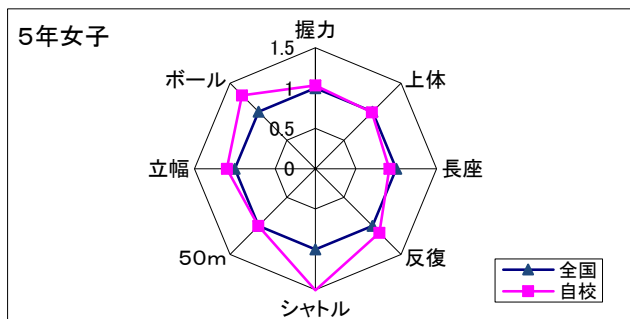
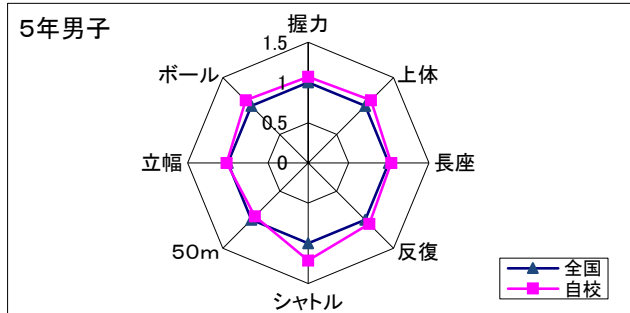


学校名	小14 本通小学校
-----	-----------

### 1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値							体力合計点			
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シヤトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	52.60	52.54	53.02
		自校	17.08	21.46	34.92	43.83	58.15	10.03	153.31	23.15	54.47	54.91	55.92
		比較	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	女	全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	54.29	53.93	53.97
		自校	16.13	18.13	34.88	43.38	55.50	9.74	156.50	16.88	57.61	59.82	58.88
		比較	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



### 2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	握力	長座体前屈
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男子が全国平均より数値が下回っているが、年間を通してみると記録は伸びている。</li> <li>体育科でのサーキット活動(全学年)や陸上教室(5・6年)により走力の底上げをすることができた。</li> <li>毎朝の一分間体操に腿上げを入れ、走力アップに取り組んでいる。</li> </ul>	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共に全国平均を上回った。</li> <li>毎朝全校でグーパー運動などを取り入れた1分間体操を行ったことで、年間を通して男女ともに平均値が1近く上がった。</li> <li>今後も雑巾絞りや鉄棒、上り棒を活用してさらに高めていく必要がある。</li> </ul>	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女ともに全国平均を上回ることができた。男女共に数値も伸びてきている。</li> <li>毎朝の一分間体操を活用し、ジャックナイフストレッチや大殿筋を柔らかくする運動をして継続的に柔軟活動を取り入れている。</li> </ul>

### 3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合		朝食を毎日食べる児童の割合		1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合	
男子	全国 93.5 自校 100.0	男子	全国 82.5 自校 91.7	男子	全国 90.1 自校 100.0
女子	全国 85.8 自校 87.0	女子	全国 80.4 自校 100.0	女子	全国 82.8 自校 100.0
<p>〈成果と課題〉</p> <p>男女ともに全国平均を上回っているが、男子は100%、女子は87%であり、男女間の差が大きかった。本校の女子の実態としては、誘われれば活動に参加するものの、自発的に運動やスポーツに取り組む姿勢に課題が見られる。授業で学習した単位については、「できるようにになりたい」という意欲があるが、それ以外の活動になると消極的な様子が伺える。</p>		<p>〈成果と課題〉</p> <p>男女ともに全国平均を上回り、特に女子は100%と非常に高い結果で、朝食をとる習慣がよく定着していることが分かる。一方で、男子は全国平均より高いものの、女子との差が見られ、一部に朝食を欠く児童がいる可能性がある。学校として、「元気っ子カード(早寝・早起き・朝ごはん)」の取組を継続していくことや、通信での啓発などを続けていくようにする。</p>		<p>〈成果と課題〉</p> <p>男女ともに全国平均を上回ることができた。また、全児童が60分以上運動を行っていた。</p> <p>・休憩時間の外遊びを全学年で意識付け、遊びを推奨することで運動する児童が増えた。</p>	